

上院司法委員会、医薬品薬価低減法案「Affordable Prescriptions of Patients Act」を可決

2019年7月3日
JETRO NY 知的財産部
柳澤、笠原

上院司法委員会は6月27日、John Cornyn 議員（テキサス州、共和）、Richard Blumenthal 議員（コネチカット州、民主）らが共同で5月9日に上程した医薬品価格低減法案「Affordable Prescriptions of Patients Act」(S. 1416)¹を可決した。

この法案は、連邦取引委員会（FTC）法を改正し、先発薬企業が後発薬企業との競争を回避するために採用している特許戦略を抑制しようとするもの。

具体的には、先発薬企業が一つの製品を非常に多くの特許で包囲する行為（特許のヤブ化（patent thickening））や、先発薬企業が剤形などを微調整して新たな特許を取得する行為（プロダクトホッピング（product hopping））などを反競争的活動とみなし、FTCが提訴できるようにすることを提案している。

法案は上院本会議での審議待ちの状態であり、上院本会議において可決された場合、下院に送付される。この法案が成立するか否かは現時点では不明であるが、仮に本法律が成立すると、先発薬企業は、後発薬企業との競争を回避するために「patent thickening」や「product hopping」などの戦略を講じることが難しくなる。

（以上）

¹ <https://www.congress.gov/bill/116th-congress/senate-bill/1416?s=3&r=1416>